


ビジネスコミュニケーション学部 ビジネスコミュニケーション学科
准教授 大須賀 元彦 OSUKA Motohiko
専門・活動分野 教学IR、データサイエンス、地域研究
最新の研究内容
テーマ：小規模私立大学におけるデータ駆動型アプローチに基づく教学IRに関する研究
研究/活動紹介
背景

高等教育において、客観的なデータに基づいて教学改善に資する提案を行う「教学IR（Institutional Research）」の重要性が高まっています。特に小規模私立大学においては、自大学の強みを最大化し、学生一人ひとりの学修成果を可視化することが、生き残り戦略と教育の質向上の両面で不可欠となっています。その一方で、小規模私立大学では限られたリソースの中でデータの活用の在り方や分析体制の構築が課題となっているケースも多く、実効性の高い教学IRモデルの確立が急務となっています。

目的

本研究の目的は、小規模私立大学という背景において、「データ駆動型アプローチ」を用いた教学IRのあり方を探究することです。単にデータを集計するだけでなく、多角的なデータ分析を通じて「教育の効果」を検証し、それらを実際の教育現場へフィードバックするための具体的なフレームワークの構築を目指します。

成果・効果や展望

今後の展望として、学生が大学生活を通じて得る主観的・客観的な価値の総体である「Student eXperience: SX」の向上と教学IRの関連性を分析していきます。小規模私立大学ならではの「顔の見える教育」にデータという客観的な指標を掛け合わせることで、学生一人ひとりの可能性を最大限に引き出す、新しい教学IRのモデルを提示できたらと考えています。

< IR研修会での講演の様子 >



< 他大学に対するコンサルティングの様子 >


産学連携/地域貢献へのアピールポイント、相談可能事項

- 高等教育機関における教学IRの研究や実務、他大学に対するコンサルティングの経験を踏まえ、教育改善のための教育関連事業所との連携が可能です。
- 若者の定住推進や子どもの体力向上などの行政課題に対し、自治体から提供されたデータの利活用を通じて、客観的な分析と提言を行ってきました。こうしたデータサイエンスに基づく行政との連携、および地域課題の解決にも幅広く対応可能です。

学会・経歴

- 日本ビジネス実務学会
(中部ブロック研究会運営委員)
- 日本地域学会

< お問い合わせ窓口 >

仁愛大学 地域共創センター TEL 0778-43-6576 e-mail collabo@jindai.ac.jp